



合併特集号

学園だより



学校法人 群馬パース学園

群馬パース大学

■ 高崎キャンパス
〒370-0044
群馬県高崎市岩押町5-4
TEL 027-310-7766(代)
FAX 027-310-7767

■ 高山キャンパス
〒377-0702
吾妻郡高山村中山6859-251
TEL 0279-63-3366(代)
FAX 0279-63-3477

ほたか保健福祉専門学校

〒377-0201
群馬県渋川市上白井2564-6
TEL 0279-53-4800(代)
FAX 0279-53-4991



学校法人合併に 当たって

理事長

樋口 克子

平成18年4月1日、学校法人群馬パース学園は、学校法人ほたか会との合併認可書を文部科学大臣小坂憲次氏より戴きました。

今回の合併の目的は、看護師、保健師、理学療法士に加え、新たなマネジメントのできる介護福祉士を育て、地域で求められる「専門職」を養成することです。

群馬パース大学の経営方針は、「美しく、すこやかに、元気で老いる」社会の実現に寄与することにあります。

その為、群馬パース大学は、教育・研究・臨床の循環を進めております。

特に医療法人社団ほたか会「ほたか病院」、株式会社ベルジテレーノ「ベルジ尾瀬」、その他多くの福祉施設の運営を通じ、福祉、医療、保健の臨床の現場で医療技術や専門知識の習得、また利用者との立場に立ち、様々な角度から人への理解を深め、社会人としての良識、常識を身に付け、国際社会においてもグローバルな保健、医療、福祉に貢献できる人材の育成を目指しております。

また臨床経験の中から発生する疑問に答える研究の場として、既に開設し、研究を開始している「〔医〕美郷医学研究所」や「群馬パース大学付属研究所」に加えて、更に深く研究や再教育を望む卒業生が自ら進んで学べる大学院の開

設を実現させ、社会の付託に答えたいと思います。

そして、今後二十年先を見据えた群馬パース学園「中、長期計画」を、着実に進めてまいります。

この合併を機に、私は理事長に就任いたしました。

樋口建介前理事長の、描いた「夢」を現実のものにして行く、強い意志と決断力、行動力で今日まで築いてきた群馬パース学園を更に、発展、向上させる為に、教職員が共通認識を持ち、地域の方々のご指導、ご協力を仰ぎながら、微力ではありますが日々精進してまいりたいと思っております。

今後とも皆様方のご理解とご協力を賜ります様よろしくお願いいたします。



新入生に贈る言葉

群馬パース大学
学長 小林 功



新入生の諸君、
本学への入学お
めでとう！い
ま全教職員が諸
君の前途に期待しています。

私は学長として諸君に「三つの言葉」を贈ろうと思います。

第一に「諸君は尊い使命を持った人材である」ということであります。少子・高齢化時代にあつて、医療・福祉・保健の分野では益々諸君の参加を待っています。諸君は本学の教育課程を終え、国家試験に合格すれば、看護師として保健師として、また理学療法士として、あるいはさらに大学院を目指すこともできる、誠に前途洋々たる未来が待っているのです。四年後にその成果が問われるのですから、一生懸命勉強して下さい。

第二に、群馬パース大学の「ParsPa」の由来を知って欲しいのであります。Parsとは英語の「ピース(平和)に相当するポルトガル語です。Pは英語のパーソン(個性)、aは英語のアシスタンス(互助)、zは英語のジール(熱意)に当たります。従つて「個性を尊重して、互いに助け合つて、情熱をもって勉学に励もう」という、本学の建学の理念を表現しています。何故

ポルトガル語なのか。それは西洋医学がわが国に伝えられたのは室町時代で、ポルトガル人の医療伝道師ルイス・デ・アルメイダ(1525~1583)によると言われています。その後キリスト教が弾圧され、アルメイダの夢は発展しませんでした。本学はその夢を実現すべく、若い人材の養成を志向したのです。是非、覚えて下さい。

第三に「ルーツを大切に」という私の好きな言葉を贈りたいのです。これからの群馬パース大学の評価は諸君の活躍にかかっているからです。本学のルーツは本学の創立者樋口建介総長が、昭和50年に群馬県の北部の武草山の麓に特別老人ホーム「川場春光園」を作り、次いで「ほたか病院」を作り、やがて高山村に「群馬パース大学」まで作ったのです。現在は高崎キャンパスもでき、さらに将来プロジェクト委員会も結成され、一層の発展を期しております。諸君の本学卒業後の進路は国内外にて活躍して欲しいと、心から願っております。諸君によつて群馬パース大学の良き伝統が築かれるのです。21世紀の医療・福祉・保健のリーダーとして育てて欲しいと思うのです。頑張ってください。

また、今後、本学卒業後の同窓会の活躍も重要な課題になってきますので、関係各位の一層の御指導御鞭撻もお願い致します。

抱負

看護学科長 牛込三和子



看護学は、人の命の芽生えから死まで、人々の健康問題を対象とし、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、地域看護学、在宅看護学に体系化されています。

当大学は将来構想として大学院設置に着手しています。大学、さらに大学院へと発展させていくことが課題だと考えます。大学教育の充実、研究活動の確立、成果を臨床、地域に還元すること、そのために、これら各領域で専門性を發揮できるように態勢を整備することに力を注ぎたいと思います。県内で看護系大学は五校になり、教員の研究交流が始まっています。学生の交流も視野に、学生生活の充実をめざして努力したいと思っております。

高齢化社会に向けて

理学療法学科長 松澤 正



わが国は高齢化社会を迎え、保健医療の充実が急務になって

いる。そのような中で本学は、これまで看護師、保健師、理学療法

士の養成をしてきた。このような人材は、高齢化に対するものであり、主として医療面からの人材の養成であり、福祉面からの人材がなかった。今回の福祉専門学校との合併により、介護福祉士の養成が加わり、高齢化に対応する人材の養成が一貫性をもって行うことができるようになり、特色のある大学を目指して、大学の使命である教育、研究、臨床を総合して行うことができる。理学療法学科としても各々の学科の連携をとり、地域医療・福祉活動に貢献することが使命であると考えている。

先見性をもち地道な努力を!

地域看護専攻科長 梅林 奎子



高山村も新緑の色を増す季節となりました。

攻科も六期生を迎え、新たな気持ちで、学生、教員共々頑張っております。

保健師にとって、少子高齢社会、環境の変化等に対応して人々の健康を如何に守り、生活の質の向上を図っていくか大きな課題です。保健師の仕事は、直ぐに成果が見えてくるものではありません。しかし、次の世代への贈り物として先人達の活動を受け継いで確実に成果を上げてきています。

群馬パース大学

二期生を迎えて



3月に一期生が高山キャンパスへと巣立ち、4月、看護学科

七二名、理学療法学科六四名、計一三六名の新入生を迎えました。両学科生が一年次を過ごす高崎キャンパスの使命は「学ぶ姿勢の立ち上げ」にあると思っております。目の前で起こること、かわる人、提供される知識・情報にตอบสนองしていきけるエネルギーと姿勢です。学生には、学習に関しては「わからないことを、まあいいかと流してしまわないこと」、「毎日きちんと机に向かうこと」、また、人間関係を厭わないこと、医療人としてのプライドをもつて環境に目配りをするを折々に求めています。これらを、言葉もさることながら、教職員がその役割モデルとなることを以て伝えたいと思います。

学校法人群馬バス学園 事務局より

事務局長 永田 榮一



学校法人は、私立学校の設置を目的として、私立学校法の定めるところにより設立されている法人をいい、当法人は、平成9年12月19日当時の群馬バス看護短期大学設置認可に併せ設立された学校法人です。

その沿革については、2002年9月15日発行の「学園だより」創刊号において、平成14年4月までの間は掲載の通りですが、その後については、以下の通りです。

平成15年9月13日 群馬バス学園短期大学高崎キャンパス開設。
平成16年11月30日 文部科学省より群馬バス大学設置認可を受ける。
平成17年4月1日 群馬バス大学開学
平成18年4月1日 当法人と、ほたか保健福祉専門学校を設置する「学校法人ほたか会」との合併認可を受ける。

当法人は「学校法人ほたか会」との合併を機会に、新役員として

「理事」六人、「監事」二人、また「評議員」十五人を選任し、学校法人の管理運営に当たっております。また、法人における当面の取り組みとしては、

1、現「ほたか保健福祉専門学校」名を「群馬バス福祉専門学校」に名称変更（平成18年3月30日理事会承認）、実施時期は平成19年4月1日予定。

2、現「学校法人群馬バス学園」名を「学校法人樋口学園」に名称変更。（平成18年5月25日理事会承認）

3、当大学高崎キャンパス内に学生寮建設計画。（平成19年度着工予定）（平成18年5月25日理事会承認）

以上の案件について、早急に文部科学省の認可を受けた。

最後に、当学園の中・長期計画として、
平成19年度 短期大学閉学予定・大学院及び新学部開設用地の取得計画。
平成20年度 大学院（修士課程）及び新学部設置申請予定。
平成21年度 大学院開学及び新学部開設予定。

以上、群馬バス大学学年進行修了年次までの間の主たる予定です。

群馬バス学園

新任教職員紹介



看護学部長 牛込三和子

国立大病院で臨床看護、東京都の研究所で神経難病在宅看護の研究、国立大学で基礎教育と大学院教育に携わってきました。縁あって当大学で教育に参加することになりました。目を輝かせ耳を傾ける学生に、看護の道を選んだころを思い起こしつつ、私なりに理解してきた看護のことを、期待を伝えたいと思っています。



看護学教授 大野 絢子

県立の保健師教育機関、国立大学・私立大学での看護関係者の教育を長く担当してきました。この度、この大学で皆様に出会えたことを大切に、看護教育の総まとめをしたいと思えます。「学生とともに学ぶ」をモットーに、この素晴らしい自然環境に支えられ、専門職教育にあたりたいと考えています。



看護学助 王 麗華

国際医療福祉大学大学院を修了し、臨床を経て、4月に着任しました王麗華と申します。

出身は中国の天津市です。ほかの美しい自然の中で、将来、医療の道に進まれる学生の皆様の目標達成のために、私自身も学びを深めて、少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひ致します。



看護学助 萩原 英子

群馬大学・大学院を卒業し、群馬大学医学部附属病院に約五年間勤務の後、当大学に着任致しました。これまで、がん看護を専門とし、特に乳がん看護を中心に臨床・研究に励んで参りました。恵まれた環境の中、これまでの経験を活かしつつ、学生と共に多くのことを学んでいきたいと思っております。宜しくお願ひ致します。



看護学助 保坂由美子

4月1日付で本学保健科学部看

護学科に配属となりました。助手として主に老年看護学の臨床実習に携わらせて頂きます。少子高齢化が急激に進んでいく中で、臨床の場で求められる老年看護学の専門知識・技術を、実践を通して学生と共に学び、成長していきたいと思えます。宜しくお願ひ致します。



図書館司書 佐藤 駿介

図書館司書として群馬バス大学の一員に加わることができ大変光栄に思います。皆様には自分の目標のため大いに私を利用していただきたいと思えます。図書館のさらなる発展のため精進して参りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



理学療法学科専任 下屋 良子

4月より、理学療法学科専任副助となりました。新しく見聞きする事が多く、戸惑う時もありますが、学科事務として皆様のお手伝いをしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

群馬パース大学 平成17年度決算報告

貸借対照表

(単位 円)

Table with 2 columns: 科目 (Item) and 金額 (Amount). Rows include 資産の部 (Assets), 負債の部 (Liabilities), and 基本金の部 (Equity).

資金収支計算書

(単位 円)

Table with 2 columns: 科目 (Item) and 平成17年度 (FY17). Rows include 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), and 収支の部合計 (Total).

【用語説明】
・資金収支計算書
「企業会計上の」キャッシュフロー計算書に相当する計算書。
・支払資金
・現金預金の残高。

消費収支計算書

(単位 円)

Table with 2 columns: 科目 (Item) and 金額 (Amount). Rows include 消費収入の部 (Consumption Income) and 消費支出の部 (Consumption Expenses).

【用語説明】
・消費収支計算書
「企業会計上の」損益計算書に相当する。
・消費収入
・収入のうち、負債とならず純資産を増加させる収入。
・基本金
・建物など、教育活動に必要な資産のうち、自己資産にて取得した金額。
・消費支出
・学校法人が消費する用途の対価であり、純資産を減少させる支出。

ほたか保健福祉専門学校 平成17年度決算報告

貸借対照表

(単位 円)

Table with 2 columns: 科目 (Item) and 金額 (Amount). Rows include 資産の部 (Assets), 負債の部 (Liabilities), and 基本金の部 (Equity).

資金収支計算書

(単位 円)

Table with 2 columns: 科目 (Item) and 平成17年度 (FY17). Rows include 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), and 収支の部合計 (Total).

消費収支計算書

(単位 円)

Table with 2 columns: 科目 (Item) and 金額 (Amount). Rows include 消費収入の部 (Consumption Income) and 消費支出の部 (Consumption Expenses).

～財務書類の公開について～
学校法人においては、各種財務書類の公開等が義務付けられております。
詳細につきましては、事務局総務課(または会計課)までお問合せ下さい。
尚、本学ホームページ内でも掲載中です。
http://www.paz.ac.jp/zaimu.htm



「ほたか保健福祉専門学校」紹介

パース学園の一員として 再発進

ほたか保健福祉専門学校
校長 山田 完治



北毛の地に大
学を誘致したい
という地域の長
年の念願の中で、

樋口健介総長の先見の明と実践力
によって、短期大学時代を経て群
馬パース大学が創設されました。
この大学を中核とする群馬パース
学園の教育内容の更なる充実化を
図るための将来展望の中で、本年
度から本校が同学園の一員として
新たな展開をすることになりました。
校名も、従来の「ほたか保健
福祉専門学校」から「群馬パース
福祉専門学校」に変更されること
になります。

ほたか保健福祉専門学校は、平
成4年度に当時の子持村（現渋川
市）に新設されました。以来、本
校は設置者・学校関係者の心血を
注いだ情熱と努力によって育まれ、
十四年間の歴史を重ね、六九四名
の卒業生を介護・福祉・医療の現
場に送り続けて参りました。この
度の新たな展開により、群馬パ
ース大学で育成された看護・理学療
法領域の人材と、福祉専門学校で
育成された介護領域の人材が協調
し、今後の本県の医療や福祉の分
野で大きな貢献をすることが期待

されます。大学と専門学校の運営
の一元化や職員の相互交流等によ
り、大学と専門学校の双方が大き
な躍進を遂げることを祈念して止
みません。

高齢化が進行する日本社会の中
で、益々需要が高まる介護福祉士
の養成を担う専門学校では、コン
パクトな学生数を利点として、指
導の徹底を図り、介護や福祉分野
に有為な人材を送り続けたいと考
えています。そのためには、確実
な専門知識と習熟した専門的技術
の修得と共に温かく豊かな人間性
の育成をも指導指標とし、それら
の指標達成のために時代を越えた
真理である不易な内容と時代の変
化に適切に対応するための流行的
内容がバランスよく組み込まれた
教育課程と学習指導が必要である
と考えます。また、教育の成果は、
教員の士気と研鑽にかかるところ
が大であることも忘れてはならな
いと思います。充実した教員研修
と地道な日々の指導実践を重視し、
学生諸君が「本校で学んで良かつ
た」と本心から思える学校づくり
を目指して、パース学園の一員と
なったこの機会に、全職員が一丸
となって再発進したいと決意を新
たにしています。



パース学園との 合併にあたって

介護福祉学科1部
教務主任 今井 芳明



当学科は、知
識・技術と人間
性を備えた介護
福祉士の養成を

目的に平成4年に開校し、今年度
は十五期生が入学しました。一年・
二年合計六四名が真剣に学んでお
ります。疾病や障害により介護が
必要になった方に、日常生活を送
るための適切な支援を行う、介護
福祉士の資格取得を目標に二年間
学びます。卒業証明書で国家資格
である介護福祉士の登録ができ、
看護師のように国家試験を改めて
受験する必要はありません。それ
だけに、卒業生を送り出す学校の
社会的責任は大きなものがありま
す。介護福祉の質の向上、福祉と
医療の連携が叫ばれている昨今で
す。この点からも、看護・理学の
学科を有する群馬パース学園との
合併は、時を得たものであると考
えます。これからは、内容の面で
の充実が求められますので、合併
の利点を生かして多様な教材が実
施できたらと念じております。早
速、7月1日には教育デイキャン
プでパース大学の体育館を利用さ
せていただきます。今後ともよろ
しくお願い申し上げます。

II部学生の紹介

ほたか保健福祉専門学校II部
教務主任 小林 洋子



II部は平成17
年度をもって新
入学生の募集を
停止し、現在は

二・三年生、三四名が学校生活を
送っています。平成9年度から募
集を開始し、現在の二年生が九期
生となります。短い歴史とは言え、
II部の開学以来関わりを持ってき
た私にとっても、新入学生を迎え
ることのなかった今年度は、やや
寂しいものでした。学生たちにと
つても、それは同様だと思いが
が、II部の歴史に有終の美を飾る
べく、いっそう充実した学校生活
を送れるよう、努力していきたい
と思っています。

II部学生のほとんどは勤労学生
であり、本校入学までの人生経験
もさまざまです。働きながら学ぶ
ということは、想像以上に厳しく、
つらいこともあると思いますが、
世代も職場も異なる学生たちが、
励まし合い、時に意見をぶつけ合
いながら、同じ教室で学ぶという
経験は、得難い体験となるのでは
ないかと思っています。福祉分野
の専門職として、より良い介護を
提供できるよう、学生たちは勉学
に励んでいます。

ほたか保健福祉専門学校 教職員紹介



I部教員
阿部 直美



I部教員
板垣 喜代子



II部教務主任
小林 洋子



I部教務主任
今井 芳明



校長
山田 完治



総務課
植田 泉



総務課
綿貫 毅



事務長
斉藤 知美



I部教員
新井 充春



I部教員
樋口久美子

平成17年度学事日程

- 4月 入学式
始業式
オリエンテーション・歓迎会
- 5月 第2(I部)
第3(II部) 段階実習
- 6月 II部球技大会
I部教育キャンプ
- 7月 第1回学校説明会
介護技術講習会
訪問介護実習
基礎実習(I部)
- 9月 前期定期試験
国際福祉機器展見学
- 10月 推薦入試
I部球技大会
学園祭
避難訓練
- 11月 第2(II部)
第3(I部) 段階実習
- 12月 推薦・一般第1期入試
事例研究発表会(II部)
- 1月 第2回学校説明会
一般第2期入試
- 2月 一般第3期入試
後期定期試験
第1段階実習(I部)
卒業時共通試験
- 3月 事例研究発表会(I部)
予餞会
卒業式
修了式

平成18年度学事日程

- 4月 入学式
始業式
オリエンテーション・歓迎会
- 5月 第2(I部)
第3(II部) 段階実習
- 7月 オープンキャンパス
アイキャンプ・球技大会
基礎実習(I部)
- 8月 オープンキャンパス
訪問介護実習
- 9月 オープンキャンパス
前期定期試験
国際福祉機器展見学
- 10月 第1期入試
学園祭
避難訓練
- 11月 第2期入試
第2(II部)
第3(I部) 段階実習
- 12月 第3期入試
事例研究発表会(II部)
- 1月 第4期入試
オープンキャンパス
- 2月 第5期入試
後期定期試験
第1段階実習(I部)
卒業時共通試験
- 3月 第6期入試
事例研究発表会(I部)
予餞会
卒業式
修了式

■神戸照子先生を偲んで

出あいとふしぎ

神戸照子



10年前になんにもないこの地に、ひとしづくが、落ちました。なにがはじまるの？

なにが生れるの？

武蔵の嶺が、じーっとみていました。清らかな谷のせせらぎが、そっと、音をたてていました。なんにも知らない手。なんにも持っていない手が、にぎりあって…。いのちをたいせつにするところをつくろう。そう、ねがった、だけでした。それから10年。

ほんとうに、10年すぎたのですね。つらかった。もう駄目、と眠れなかった夜夜。ひとつの手、手が、かぞえきれない手になって10年。ここまできたのです。

善玉と悪玉を、いっぱい持っている人たちが、その善玉と悪玉を、むきだしにして、そのまま、そのまま、ここまできました。10年前に、この地に落ちた、ひとしづく。この地に、ともった、ちいさな灯。大きくくなりました。

重なって、しつかりにぎった、手、手、手。悪玉が出た時は、ゆるしあい、いくどでも出なおしました。

善玉が出た時は、手ばなしで、よろこんで、

明日が、あったのね、って泣きました。からだが病んでも、心まで病まないところに、そうねがつてきました。いのちは消えない。ほたか嶺は、美しい。春も夏も秋も冬も。そして、ひとが忘れていても、みんな清らに吸いとって覚えていくほたかの嶺。どんなに、このみねに、力づけられたか知れませんが、ひろいそらと、みどり、母なる大地と、せせらぎと、そして、安らかに病むひとと、みどり、いやし、はげます、はたらきひと、と。出あいと別れが、決して、しめつぽくなくて、明るくて、きらきら光るところになりました。10年。ありがとうございました。

理解されるのぞきもとおく部屋を出る
ほたかの嶺は夕陽にあかし
また、泣きましょう。
また、つらくても。もう大丈夫。
みんなの手が、大きくなって、
いっぱいになりましたもの。
10年。ありがとうございました。

(昭和61年12月25日発行「現在・過去・未来」より)
■平成17年12月27日に逝去されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

学園によせる想い

前高山村村長 割田良次



新緑につつまれた学園で、向学心に夢をふくらませて、学究に精力的に努力している、学生諸君の目標達成を祈りながら、来し方を省みております。

高山村は、みどりの山々に囲まれた盆地の村で、純朴な村民が仲睦まじく、暮らしている農山村であります。心豊かに明るく活力のある村づくりをめざして、平成2年3月より高山村長に就任し、二期目になった平成6年の12月から、7年の正月にかけて、降って湧いたような話、看護師養成の短期大学設置の件でした。樋口理事長に同行した、後藤鹿野高医学博士は、高山村の出身で、金沢医科大学医学部教授をなされた方とお聞きしていたが、その先生から高山村に、高等教育の場である大学ができたらずばらしい事だから協力してほしいと、進言を受けました。

囲まれた高山村は、北毛の核となり得る要件を満たせる場所ではあるが、山林を伐り開いての大学建設に不安もあったが、設置者である樋口理事長のすばぬけた才能と、情熱と前進力には、人の心をうつものがありました。文部科学省の認可の条件、県の幹部の心配に対して、村長の政治生命を賭けての事業と説明して、心温まる御支援の約束をいただきました。完成に向かって大学設置者のやるべき事、村がなすべき事、それぞれ分担しあって、平成10年4月、群馬バス看護短期大学の第一期生を迎えて、開学の運びとなり、正に夢の実現でありました。同じ頃、近くの山の上に、一般公開型では東洋一の、県立ぐんま天文台の誘致をし、県立北毛青年の家を併せ、教育・文化ゾーンの確立に努めました。樋口理事長の理想は高く、短大から四年制大学に発展し、看護師、保健師、理学療法士、介護福祉士等を育てるために、ほたか保健福祉専門学校も併せ、大学の一層の充実を計られており、高崎キャンパス拡大のお話も伺っております。

整備されてゆく中で、常に変わらぬ自然に抱かれた高山キャンパスから、保健・医療・看護・介護等で、対象者に心から信頼される奉仕者として全国各地に巣立ってゆく学生諸君に、熱いエールをお贈りできますことが、私にとりまして無上の喜びでございます。

高山村村民憲章に「私達は郷土を愛し、教養をたかめ、文化の香り高い村をつくりましょう。」という一項があり、村長の公約の中でも、村づくりは人づくり、人づくりは教育からが、重点施策になっておりましたから、樋口理事長の要請を信頼し、村をあげて協力すべく、村議会・地域・地権者の理解と協力をいただき、北毛十六市町村の首長からも、支援の約束を賜りました。波川市・沼田市・みなかみ町・中之条町に



平成17年度 神戸賞授与式 (H18.5.29)



優秀賞 [看護学科] 3年 内田百合子
[理学療法学科] 3年 前田 博之

努力賞 [看護学科] 3年 高橋千恵子 3年 川鍋 美加
[理学療法学科] 3年 山田 早紀



臨床実習指導者会議

理学療法学科の学生と実習受入機関の方々との対面です。(H18.2.24)



今年も地域看護学専攻科卒業生から桜の苗木が寄贈されました。(H18.3.1)



スポーツ大会

(H18.6.4)

編集後記

本号は「学校法人合併認可特集」として、「ほたか保健福祉専門学校」を御紹介いたしました。

又、本学同窓会も「群馬パース同窓会」に名称を変え、時期を同じくして会報を発行しましたので、卒業した方々へ学園だよりも一緒にお届けいたします。

〒377-0702
群馬県吾妻郡高山村中山6859-251
TEL 0279-63-3366(代)
FAX 0279-63-3477
URL <http://www.paz.ac.jp/>
E-mail paz@paz.ac.jp



ほたか保健福祉専門学校

学園祭 (H17.10)

